

「金融教育フェスティバル」を開催（金融広報中央委員会）

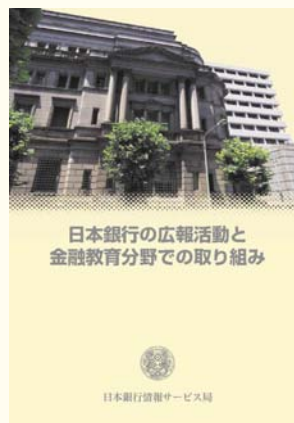
金融広報中央委員会では、十二月二十六日、江東区有明の東京ビッグサイトで「金融教育フェスティバル」を開催しました。同フェスティバルは、今年度の「金融教育元年」プロジェクトの一環として、学校教育関係者、保護者、児童・生徒、一般市民の金融教育に対する関心・意欲・実践力の向上を目的として開催されたもので、当日は家族連れのお客様を中心におよそ一〇〇〇名の方々が来場されました。

シンポジウムでは、「これからの子どもたちに期待すること」と題し、与謝野馨金融担当大臣のほか、精神科医の香山リカさんやタレントの村上里佳子さん等の方々をお迎えしお話を伺いました。

また、「おかねについて学ぶ子ども広場」では、幼稚園児や小学生を対象とした「カレー作り」ゲームや「トレーディ

ングゲーム」が行われ、児童たちの歓声で会場は大いににぎわいました。

小冊子「日本銀行の広報活動と金融教育分野での取り組み」を発売



情報サービス局では、このほど、「日本銀行の広報活動と金融教育分野での取り組み」と題する小冊子を発売しました。

同冊子は、日本銀行調査季報二〇〇五年秋（十月）号に掲載された同名の資料を独立した小冊子形式にしたもので、多くの皆さんに日本銀行の広報活動や金融教育への取り組みについて知っていただくことを目指しています。関心のある方は情報サービス局までお問い合わせください（連絡先 ☎〇三 三三七七 二四〇五）。

企画展「黄金の分銅 天下人の遺産」を開催中

貨幣博物館では、標題の企画展を開催中です。当館所蔵の四種類の小分銅と

編集後記

どこかおかしい「普通の子」。増加する「ちょっと気になる赤ちゃん」。結果を急ぎ成果を求める「待てない」大人が、子供たちの世界にまで歪を生み出している……。今回の特集は、「待つことの意味」を自分に問い直す良い機会となりました。（AU）

金融教育は時代の要請なのだと感じます。もう、誰もが金融に無関心ではいられない時代です。金融広報中央委員会による各種イベントへの皆さんの関心が、さらに高まることを願います。（NT）

にちぎん 2005年 冬号
編集・発行人 湯本崇雄
発行 日本銀行情報サービス局
〒103-8660
東京都中央区日本橋本石町2-1-1
☎03-3277-2405

本誌で掲載している内容については、必ずしも日本銀行の見解を反映しているものではありません。

デザイン 株式会社市川事務所
印刷 図書印刷株式会社
c 日本銀行情報サービス局 禁無断転載

もに、豊臣秀吉や江戸幕府が作らせたといわれる大分銅に関する史料などをご紹介しています。

開催期間 平成十八年三月十一日（日）まで

休館日は、月曜日、祝日（ただし、土・日と重なる場合は開館）、年末年始（十二月二十九日～一月四日）

開館時間 九時三〇分～一六時三〇分

入館は一六時まで

場 所 東京都中央区日本橋本石町一 三

お問い合わせ先 ☎〇三 三三七七 三〇三七



桐の極印・菊花地紋

特別展「北海道開拓使物産売捌所設計図 建築家コンドルと弟子たち」を開催中

金融資料館（日本銀行旧小樽支店）では、標題の特別展を開催中です。ニコライ堂や鹿鳴館などの設計で知られるイギリス人建築家ジョサイア・コンドルによる「北海道開拓使物産売捌所」の設計図を複製によりご紹介しています。

『売捌所』は開拓使廃庁後、開業当初の日本銀行本店として利用されました。

開催期間 平成十八年一月十二日（日）まで

休館日は、月曜日（月曜日が祝日の場合はその翌平日）、年末年始（十二月三十一日～一月五日）

開館時間 九時三〇分～一六時三〇分

入館は一六時まで

場 所 北海道小樽市色内一 十一 十六

お問い合わせ先 ☎〇三四 二二 一一一一